

(文化・観光部)

1 静岡県の現状

○外国人延べ宿泊者数（観光庁「宿泊統計」、暦年） (単位：千人泊)

	H26	H27	H28	28-26 (28/26)	28-27 (28/27)
静岡県	786	1,740	1,577	791 (200%)	△163 ( 91%)
うち中国人	336	1,135	984	648 (293%)	△151 ( 87%)

○富士山静岡空港の国際線出入国者数の状況（法務省出入国者統計、暦年） (単位：人)

	H26	H27	H28	28-26 (28/26)	28-27 (28/27)
出入国者数	204,014	389,534	280,784	76,770 (138%)	△108,750 (72%)
日本人	56,957	52,348	58,776	1,819 (103%)	6,428 (112%)
外国人	147,057	337,186	222,008	74,951 (151%)	△115,178 (66%)

2 取組概要

(1) 観光交流の拡大

ア インバウンド施策の推進

(7) 県域DMO（静岡ツーリズムビューロー）による戦略的な誘客

- ・科学的分析を用いたマネジメントとマーケティングにより、観光地域づくりを進めるための戦略を策定し、ターゲットに対し効果的に商品・サービスを提供
- ・欧米豪市場及び香港線新規就航を目指した香港市場の開拓

(4) 浙江省友好提携35周年を契機とした中国からの誘客拡大

- ・日本平桜マラソンへの中国人受入（93人）
- ・杭州マラソンでの観光PR、本県を目的地とした旅行商品の造成促進

(ウ) 特色ある観光プログラムの開発支援

- ・地域資源を活用した観光商品の造成、誘客促進を行う地域DMOに対する支援

(エ) 受入体制の整備

- ・多言語案内看板の更新、二次交通の整備支援、Wi-Fiの整備支援
- ・人材育成（県立大学、文芸大における観光学科設置）

イ アウトバウンド施策の推進

(7) 国際線定期便の需要拡大

- 【中国線】浙江省友好提携35周年を契機とした旅行商品造成(杭州線等)
- 【ソウル線】ビジネス需要の利用促進及び乗継需要の拡大(東南アジア方面)
- 【台北線】教育旅行の利用促進及び台北以外を目的地化した旅行商品造成(嘉義県ランタンフェスティバル等)

(2) 新たな交流の促進 ～スポーツを通じた交流促進～

ラグビーワールドカップ2019や2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会、イタリアとの交流などスポーツを通じた交流を促進

区分	主な取組
ラグビーワールドカップ2019	○ ラグビーを通じた交流促進 ・日本代表戦の開催に合わせたアイルランド代表によるラグビークリニック ・出場決定国やエコパでの試合開催予定国のキャンプ誘致（6地区）
東京オリンピック・パラリンピック	○ 2020年のオリンピック・パラリンピック開催に向けた国際交流の促進 ・事前キャンプ誘致を希望する21市町を支援するため、欧州現地連絡員、オセアニア現地連絡員に続き、新たに北米現地連絡員を設置（6月予定） ○ 文化プログラムの展開 ・県内各地域での文化プログラムの実施
浙江省との交流	○ 友好提携35周年を契機とした、中国浙江省とのスポーツ交流協定の締結 ・サイクル交流やマラソン大会等への選手相互派遣等
自転車を通じた交流	○ サイクルスポーツを活用した交流促進 ・協定に基づくイタリアへのサイクリスト派遣（40人）、台湾等のサイクリストの受入（30人）

